

感染症胃腸炎に引き続き注意!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	62	111	百日咳	0	1
RSウイルス感染症	3	5	ヘルパンギーナ	12	18
咽頭結膜熱	11	32	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	11	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	56	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	358	660	流行性角結膜炎(はやり目)	16	14
水痘	12	23	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	87	125	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	4	11	マイコプラズマ肺炎	3	1
突発性発しん	41	44	クラミジア肺炎	0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	6

報告が多い感染症
 感染性胃腸炎
 手足口病
 インフルエンザ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池、有明
 手足口病 : 八代
 流行性耳下腺炎 : 人吉

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	15	2	2	12	85	3	18	2	11		2			16				3		3
山鹿保健所	5				36	2	7		2				*	*						
菊池保健所	6	1	3	5	80	4	12		10			2								
阿蘇保健所	2			1									*	*						
御船保健所	1				15								*	*						
八代保健所	6			3	31		28	1	8											
水俣保健所	2				3				3				*	*						
人吉保健所	1		1	9	14	1	2					9	*	*						
有明保健所	9		1	1	60	2	14		3		2									
宇城保健所	6		2	1	19		3		3		1		*	*						
天草保健所	9		2	6	15		3	1	1		7									
計	62	3	11	38	358	12	87	4	41	0	12	11	0	16	0	0	3	0	3	3

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	62	1	0	0	1	1	5	1	5	3	4	2	10	2	4	6	7	3	5	1	1
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	11	0	3	1	3	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	0	0	1	3	5	8	6	3	4	2	0	5	0	1						
感染性胃腸炎	358	7	17	46	30	32	37	28	28	21	21	18	42	3	28						
水痘	12	0	0	1	3	2	1	0	2	1	1	1	0	0	0						
手足口病	87	0	5	25	15	21	8	4	5	1	2	0	1	0	0						
伝染性紅斑	4	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0						
突発性発しん	41	0	20	19	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	12	0	3	3	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	11	0	0	0	1	2	0	1	5	2	0	0	0	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	16	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	2	1	2	2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

感染性胃腸炎の今週の報告数は、358件でした。報告数は減少していますが、山鹿、菊池、有明地域は警報レベルです。例年、3~5月にかけて乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎が流行するので、引き続き、手洗いなどの感染予防対策をしっかりと行いましょう。

ロタウイルスは感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入るだけで感染してしまいます。ロタウイルスに感染すると、2~4日の潜伏期の後、下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛等が出現します。脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。また、けいれん、肝機能異常、急性腎不全や脳症など重篤な合併症がおこる場合もあります。現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス薬はなく、点滴などの対処療法が主な治療法となります。

感染を広げないようにするには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが必要です。オムツを交換するときには使い捨てのゴム手袋などを使い、捨てる場合はポリ袋などに入れます。手洗いはせっけんで30秒以上もみ洗うことが必要です。また予防方法の1つにワクチンがあります。現在、ロタウイルスのワクチンは任意で接種を受けることができ、乳児が対象となっています。詳細については、お近くの医療機関でご相談ください。

